

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 5 月 30 日

多治見市議会



会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島芳枝

質問題名	使用済み紙おむつのリサイクルとごみ減量化について
質問要旨	高齢化が進み、総体的にごみは減少していくが、一般廃棄物として排出される紙おむつは年々増加し、2030年にはごみ全体に占める割合は約7%に上がると推計されている。使用済み紙おむつのリサイクルを検討・実施している市区町村は現在35前後だが、環境省は30年度までに100自治体に拡大する事を目指し、自治体向けのガイドラインを策定している。 ごみの減量化においては、使い捨てプラスチックごみの減量、特にペットボトルからマイボトルへの転換や、生ごみの抑制には更なる、様々な生ごみ処理機の紹介や、購入補助で啓発の強化がのぞまれる。
質問項目①	本市の第4次環境基本計画（地球温暖化実行計画）の課題と目標をお示しください。
質問項目②	先進地である鹿児島県志布志市 ^{しぶし} の使用済み紙おむつの水平リサイクル（紙おむつから紙おむつへ）や、新潟県十日町市 ^{とおかまち} の固形燃料（ペレット）化の使用済み紙おむつのリサイクルを検討してはどうか。
質問項目③	京都府亀岡市はペットボトルの削減の為、マイボトルの利用促進に公共施設等へ給水スポットの設置をはかっている。本市も検討してはどうか。また、小中学校に給水スタンドの設置で子どもたちの水筒の重さの軽減を検討出来ないか
質問項目④	生ゴミ処理に黒土に微生物を住まわせ、生ごみを分解して消滅させる生ごみ処理器、堆肥を生成しないため、処分しなくてもよく、ベランダ等にも設置可能な「キエーロ」の啓発と助成の対象に加えてはどうか。
質問項目⑤	
質問の相手方	市長 環境文化部長 教育長